

# 日本の医療圏の海外展開(アウトバウンド)に関する事業一覧

## ロシア

1. ロシア(モスクワ)における日本式医療サービスの普及・啓発プロジェクト
  - 総合南東北病院(福島県)、東京内視鏡クリニック(東京都)
2. ロシア(ウラジオストク)における画像診断サービス提供プロジェクト
  - 北斗病院(北海道)

## 中国

3. 中国(上海)における糖尿病治療サービスの提供プロジェクト
  - テルモ、東大病院
4. 中国(北京)における高度健診サービス提供プロジェクト
  - 麻田総合病院(香川県)
5. 中国(北京)における日中歯科医療技術協力研修センタープロジェクト
  - アジアデンタルフォーラム

## その他の国

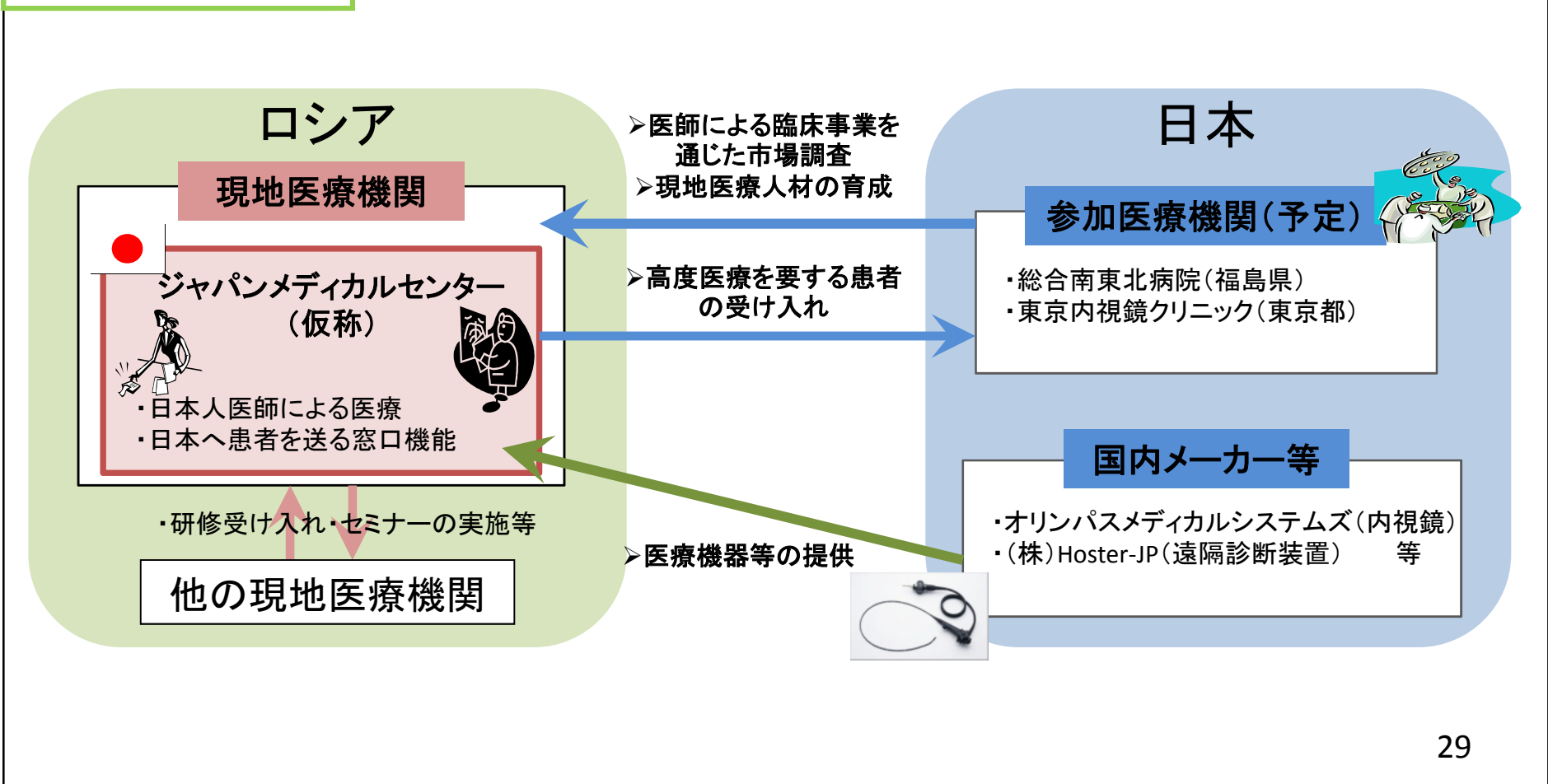
6. ベトナム／中国における遠隔病理・画像診断サービス提供プロジェクト
  - 国際医療福祉大学
7. カンボジア(プノンペン)における高度医療サービス及び医療教育提供に向けた実証調査
  - 北原国際病院(東京都)
8. トルコ共和国における病院PPPプロジェクト
  - アイテック株式会社

# ロシア(モスクワ)における 日本式医療サービスの普及・啓発プロジェクト

## 事業概要

- モスクワの現地医療機関に、日本式の高度な医療、特に内視鏡施術等のサービスを提供する「ジャパンメディカルセンター(仮称)」の開設を目指す。当該センターは治療困難な患者(癌治療等)を日本に受け入れる拠点とする。
- 今年度は、①センター内での日本式医療の実施を通じた事業性調査、②我が国医療サービスの認知度の向上等を実施。

## 今年度事業実施イメージ

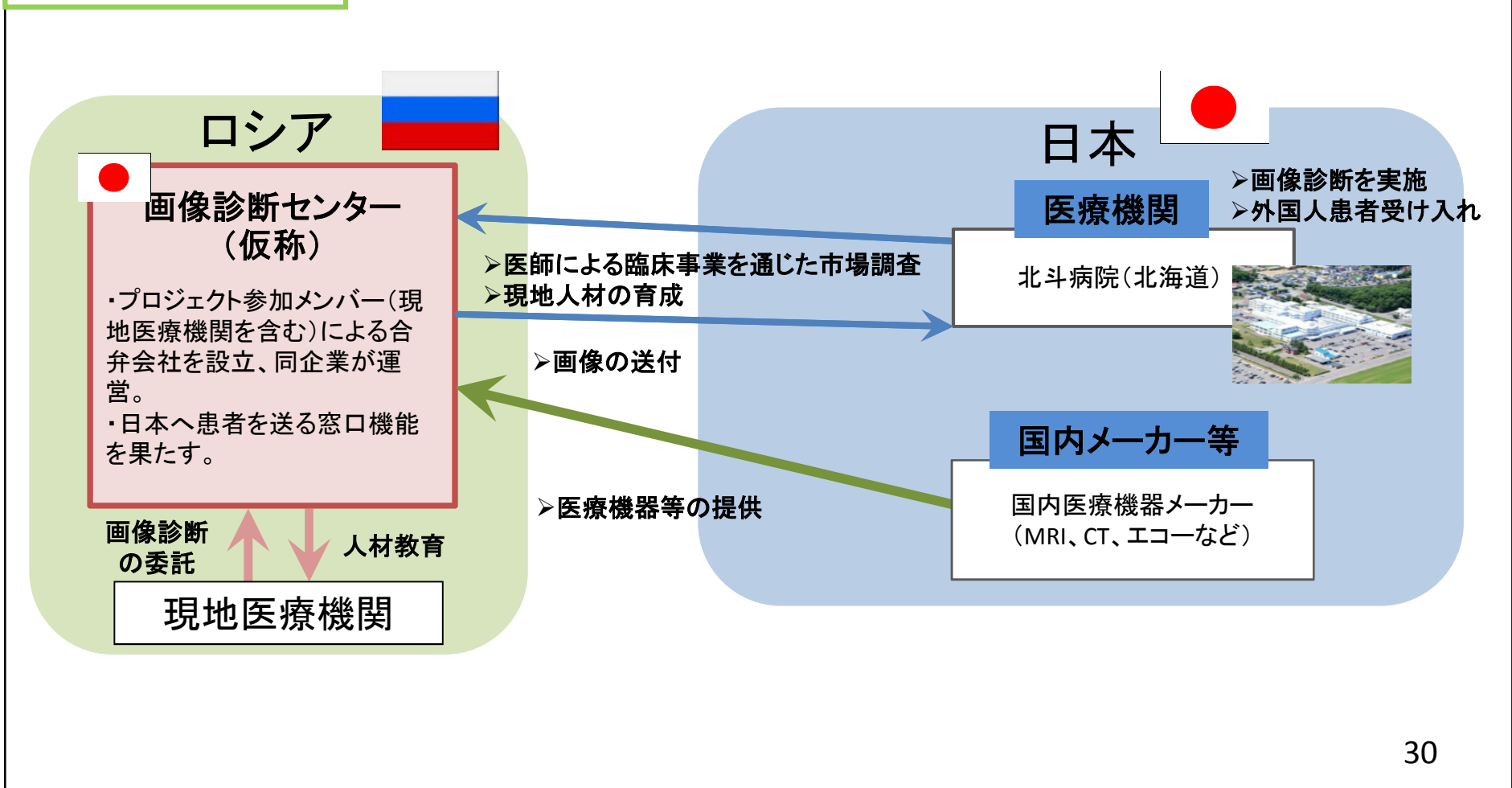


# ロシア(ウラジオストク)における 画像診断サービス提供プロジェクト

## 事業概要

- ウラジオストクにおいて高度な画像診断サービスを提供し、日本への患者の窓口機能も果たす「画像診断センター(仮称)」のウラジオストクの設置を目指す。
- 今年度は、①現地で日本式診断センターを設立する際の事業可能性調査(医師の臨床事業による市場調査を含む。)、②現地医療機関とのネットワーク構築を実施。

## 今年度事業実施イメージ

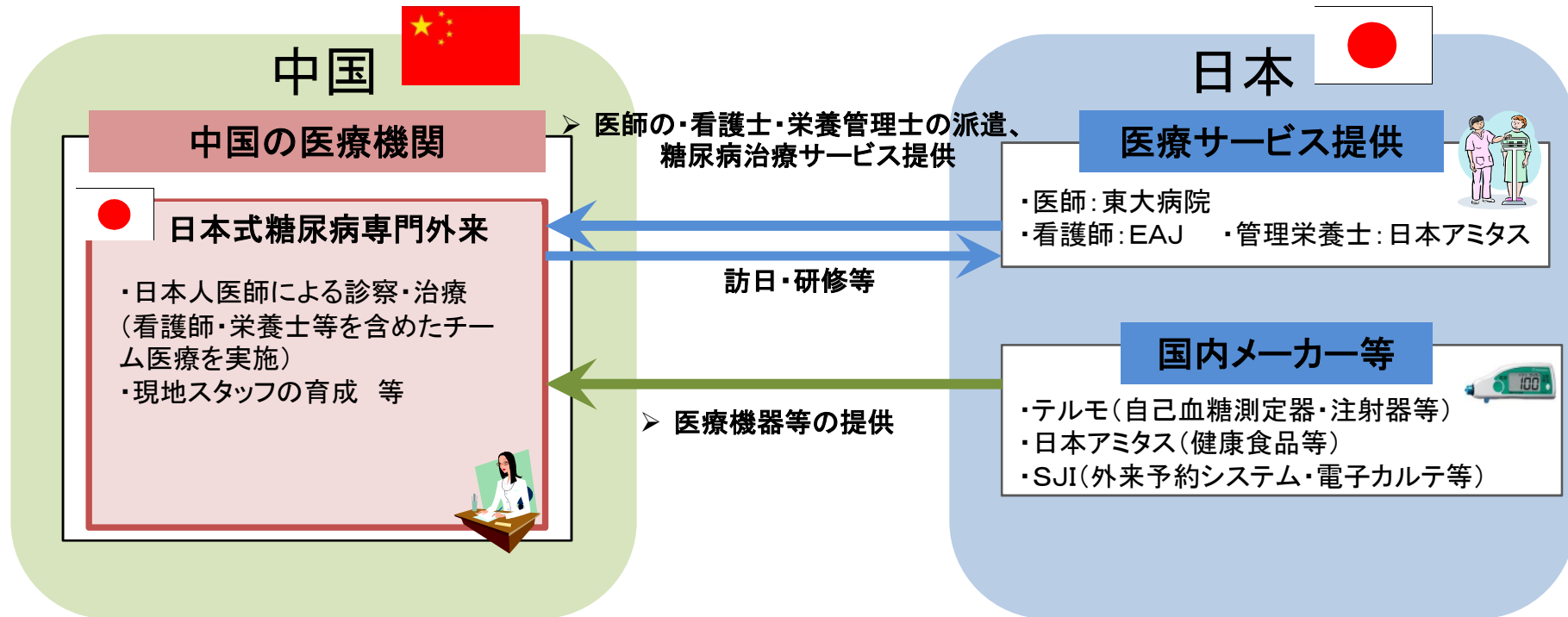


# 中国(上海)における 糖尿病治療サービスの提供プロジェクト

## 事業概要

- チーム医療による食事・運動療法を中心とした糖尿病治療を提供できる専門病院を上海で設立することを目指す。
- 今年度は①医療サービスの提供を通じた事業可能性調査、②我が国糖尿病治療の質の高さに対する認知度向上等を図る。

## 今年度事業実施イメージ

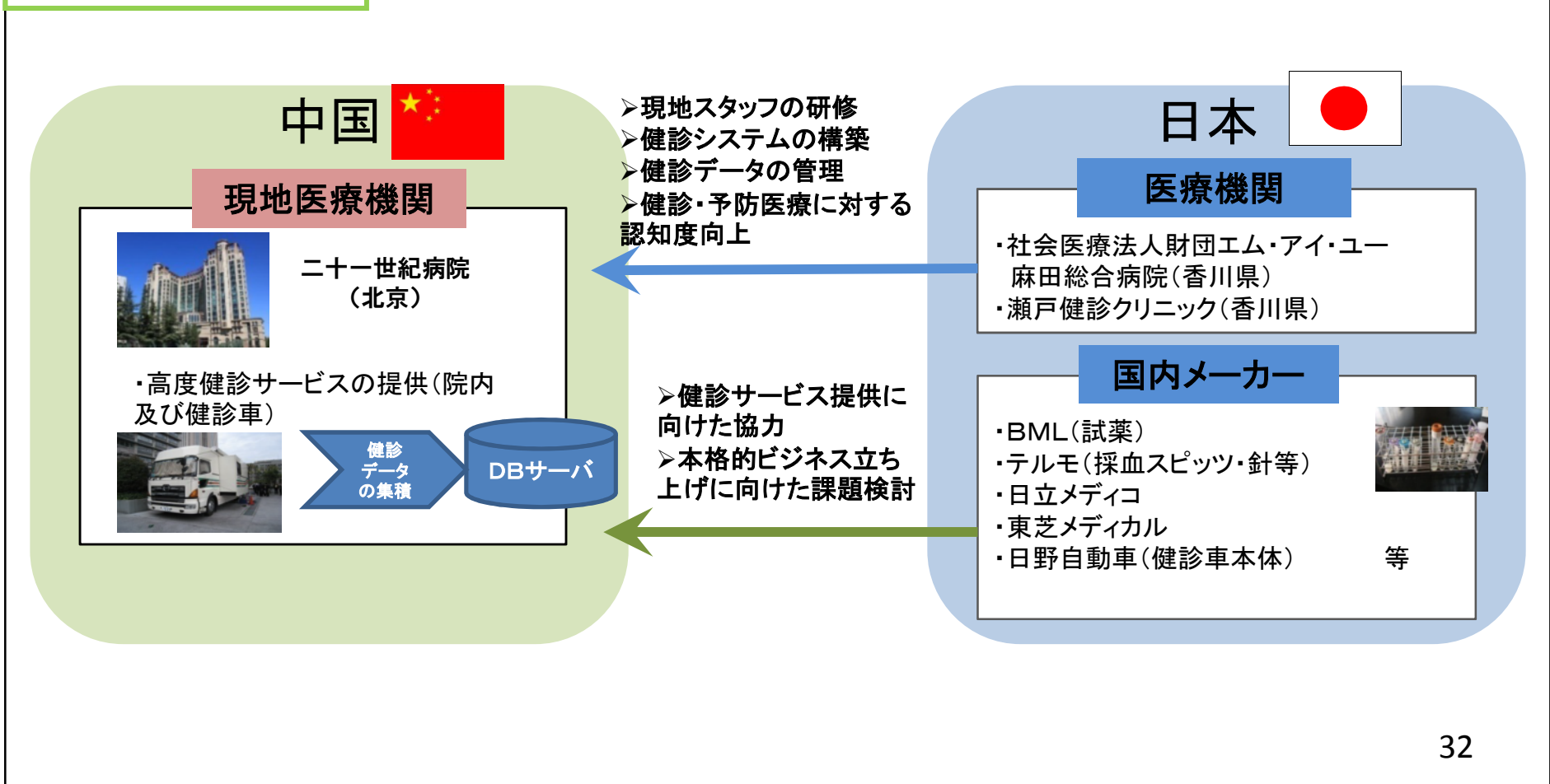


# 中国(北京)における 高度健診サービス提供プロジェクト

## 事業概要

- 中国における健診サービス提供及び健診データ管理事業の実施を目指す。
- 今年度の事業では、①二十一世紀病院内及び総合健診車による高度健診サービスの提供を通じた、日本の高度健診サービスの海外展開に向けたビジネス性の検証、②健診データ管理の拠点設置にかかる規制調査等を実施。

## 今年度事業実施イメージ

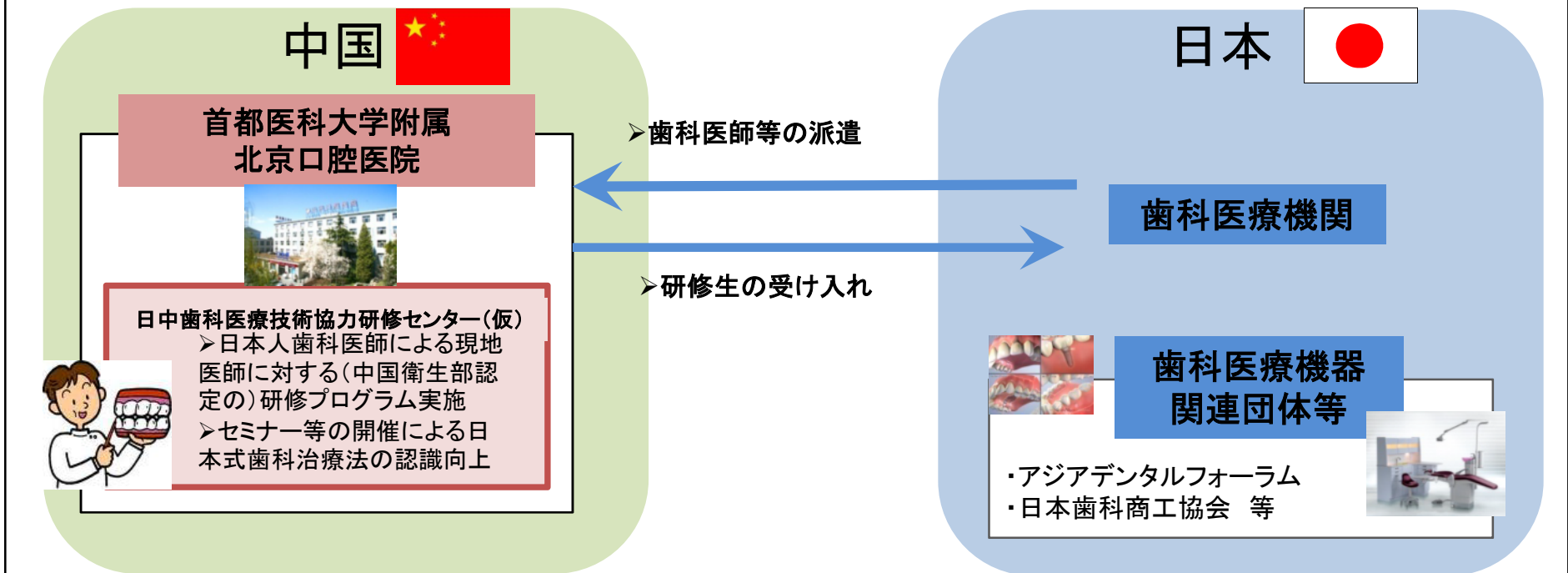


# 中国(北京)における 日中歯科医療技術協力研修センタープロジェクト

## 事業概要

- 国における歯科医師養成教育に協力することを通じて、中国の歯科医療の向上に寄与する。
- 今年度の事業では、首都医科大学附属北京口腔院内での研修センター設立に向けた研修プログラムの策定や事業可能性調査を実施する。

## 今年度事業実施イメージ

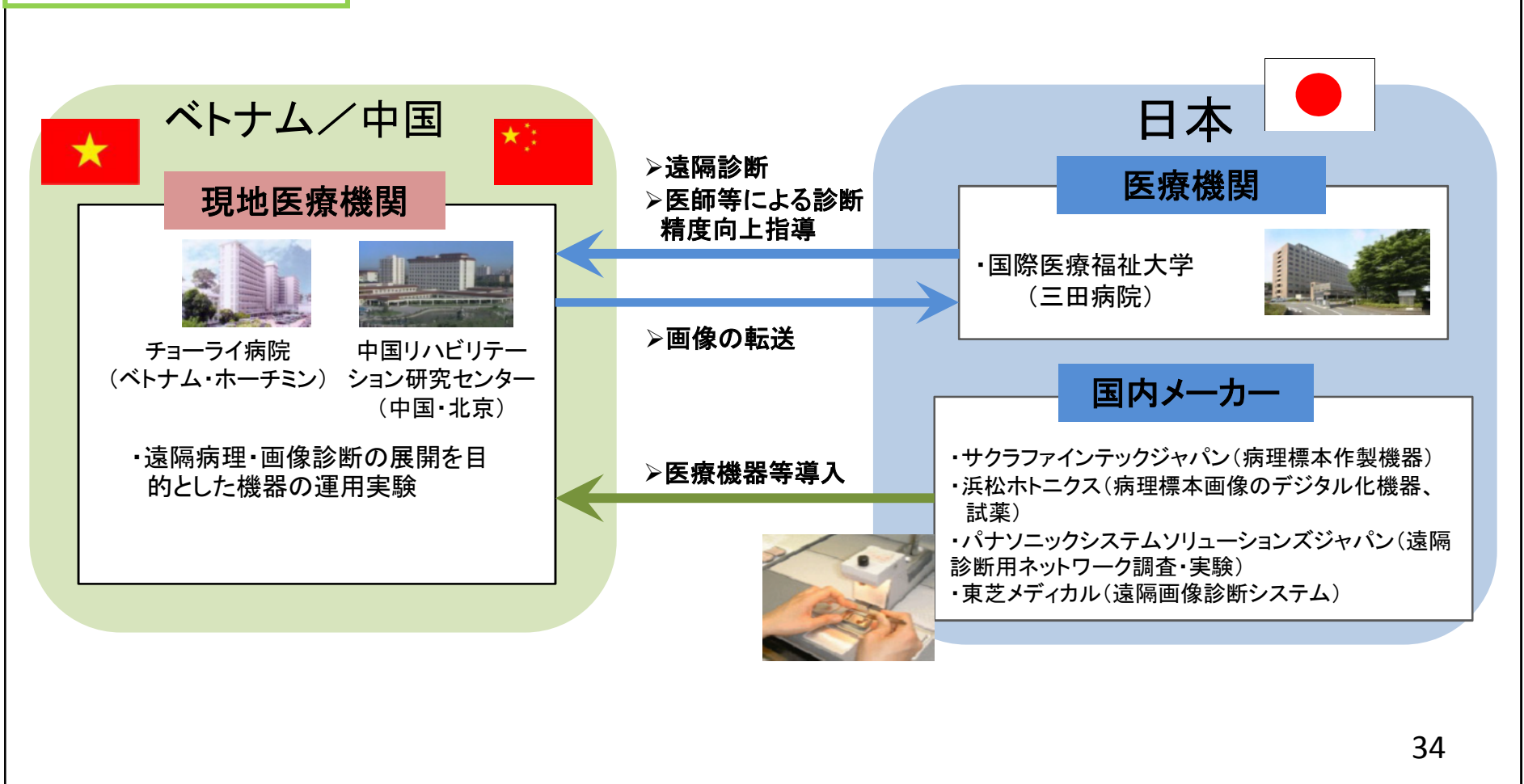


# ベトナム／中国における 遠隔病理・画像診断サービス提供プロジェクト

## 事業概要

- ベトナム・中国の現地医療機関において、遠隔病理・画像診断サービスを提供しつつ、必要に応じて患者を日本に搬送し、治療を行う。将来的には「遠隔病理・放射線画像診断センター」を設立・展開する等の事業化を目指す。
- 今年度は、①ベトナム・中国の病理・画像診断の市場・インフラ調査、②ベトナム・中国の医療機関において、遠隔病理・画像診断装置を設置して診断サービスを実験的に提供し、事業性を調査する。

## 今年度事業実施イメージ

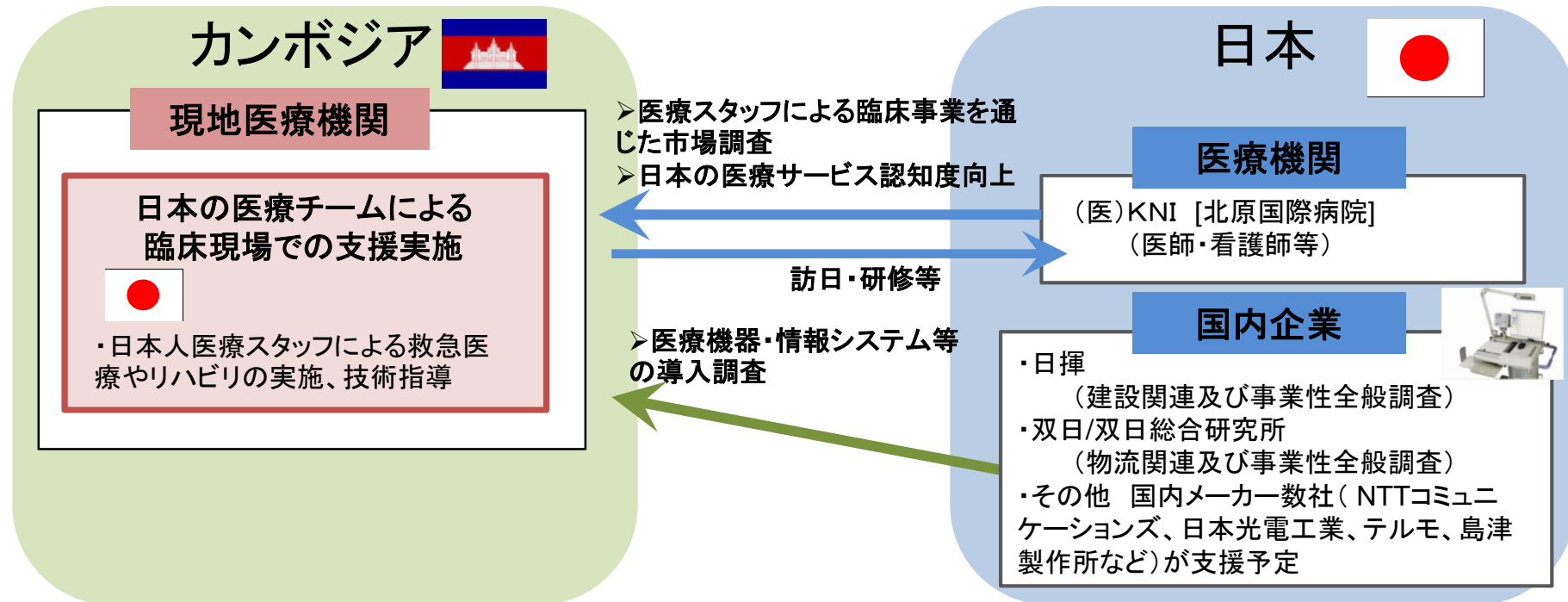


# カンボジア(プノンペン)における 高度医療サービス及び医療教育提供に向けた実証調査

## 事業概要

- カンボジア初の救命救急センターを開設し、以後、段階的に高機能病院や医療人材育成施設の建設を目指す。
- 今年度は①医療サービスの提供などを通じた事業可能性調査、②医療機器や情報システム等の導入にかかる各種規制等調査、③我が国医療サービスの認知度向上等を図る。

## 今年度事業実施イメージ

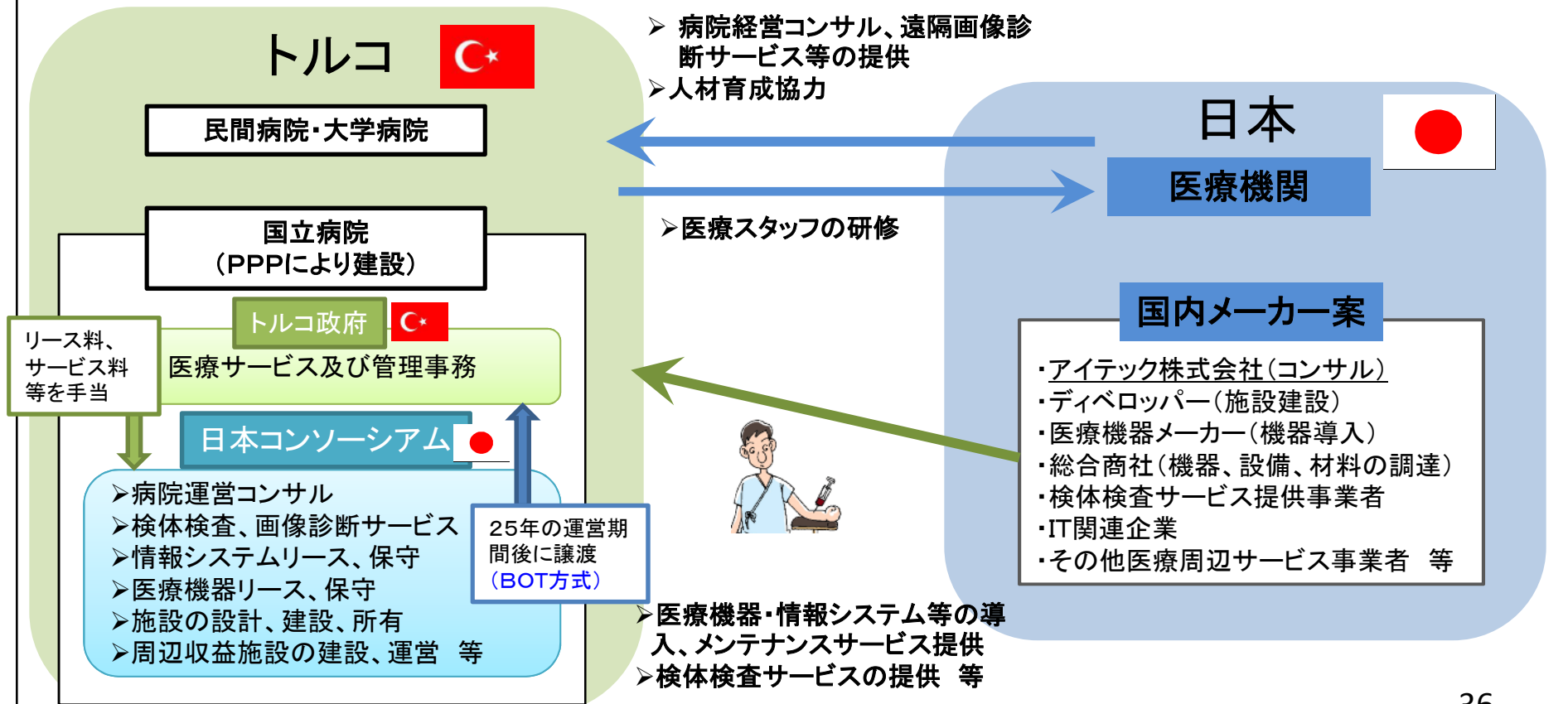


# トルコ共和国における病院PPPプロジェクト

## 事業概要

- トルコでは23年度内にPPPで27病院(計約32,000床)の整備事業を公告にかける予定。
- 事業参画へ向け、まずは現地の医療保険制度、医療需給等の基礎的調査を行うとともに、コンソーシアムの組成を実施予定。

## 全体事業イメージ案



- ① 外国人患者受け入れに関する価格の考え方  
→別添資料1参照
- ② 外国人患者受け入れに係るリスクの整理、予防・対応策検討  
→今年度調査事業を通じて実施し、MEJを活用して横展開を図る。
- ③ 国際医療通訳者の育成  
→P. 38参照
- ④ 医療の国際化を先駆的に進める医療機関による「日本」のブランド化  
→別添資料2参照
- ⑤ 海外での医療拠点整備に向けた日本としての支援体制(資金面も含む)  
→別添資料3参照

## (参考)国際医療通訳の育成の例

○東京外国語大にて、昨年度講座を開設。  
今年度以降も継続予定。



経済産業省委託事業 国際医療交流人材育成支援事業

### 国際医療通訳講座



#### 講座詳細

DETAILS

講義は全9回からなり、第1回目は概論(日本の医療に関する講義、各国の医療従事者による医療事情に関する講義、国際医療交流における国際医療通訳の役割)、第2回以降は、医療関係者による医療知識に関する講義、語学講師によるケーススタディと語学演習(言語ごとに実施)を行います。また、講義に加えて、受講生が医療の国際化に対する理解を深めるため、医療機関の見学や通訳実習の機会を設けるとともに、講義の最後に修了試験を実施します。講座参加者には、修了試験の結果及び医療機関における通訳実習の内容を総合的に判定し、一定レベル以上の能力を修得したことを認定します。

#### 講師紹介

LECTURER

**山田 紀子(やまだ のりこ):プロジェクトコーディネーター、ロシア語担当**  
東京外国語大学外国語学部ロシア語学科卒業。在学中、サンクトペテルブルグ大学に1年間留学。現在、ピー・ジェイ・エル(株)で代表取締役を務める。ロシア専門商社としての業務の傍ら、2006年より、日本の医療機関における検査や治療を希望するロシアからの患者の受入れを本格化、これまでに延べ約80名の受入れを行っている。

**白川 忍(しらかわしのぶ):中国語担当**  
中国華南科技大学附属同濟医学院卒業。日本の医療機関にて看護師として勤務後、2009年7月より、日本エマーゼンシーアシスタンス(株)勤務。現在、同社上海支社支店長、兼メディカル部看護師。邦人駐在員や旅行者が病気や怪我を負った際の現地医療機関における通訳をまじめ、中国国内から日本への緊急搬送時のフライトナース、中国人医療スタッフに対する教育等を行っている。

**丹下 浩子(たんげひろこ):英語担当**  
上智大学外国語学部卒業。23年こわたる同時通訳(英語)としての経験を有し、医療に関しては、心臓病、肺疾患、肝疾患、アレルギー、糖尿病、メタボリックシンドローム、睡眠時無呼吸症候群等、多数の国際学会における医学通訳者としての経験のほか、旧国立小児病院アレルギー科にて心理療法士として勤務した経験も持つ。現在、東京医科歯科大学非常勤講師。

#### カリキュラム

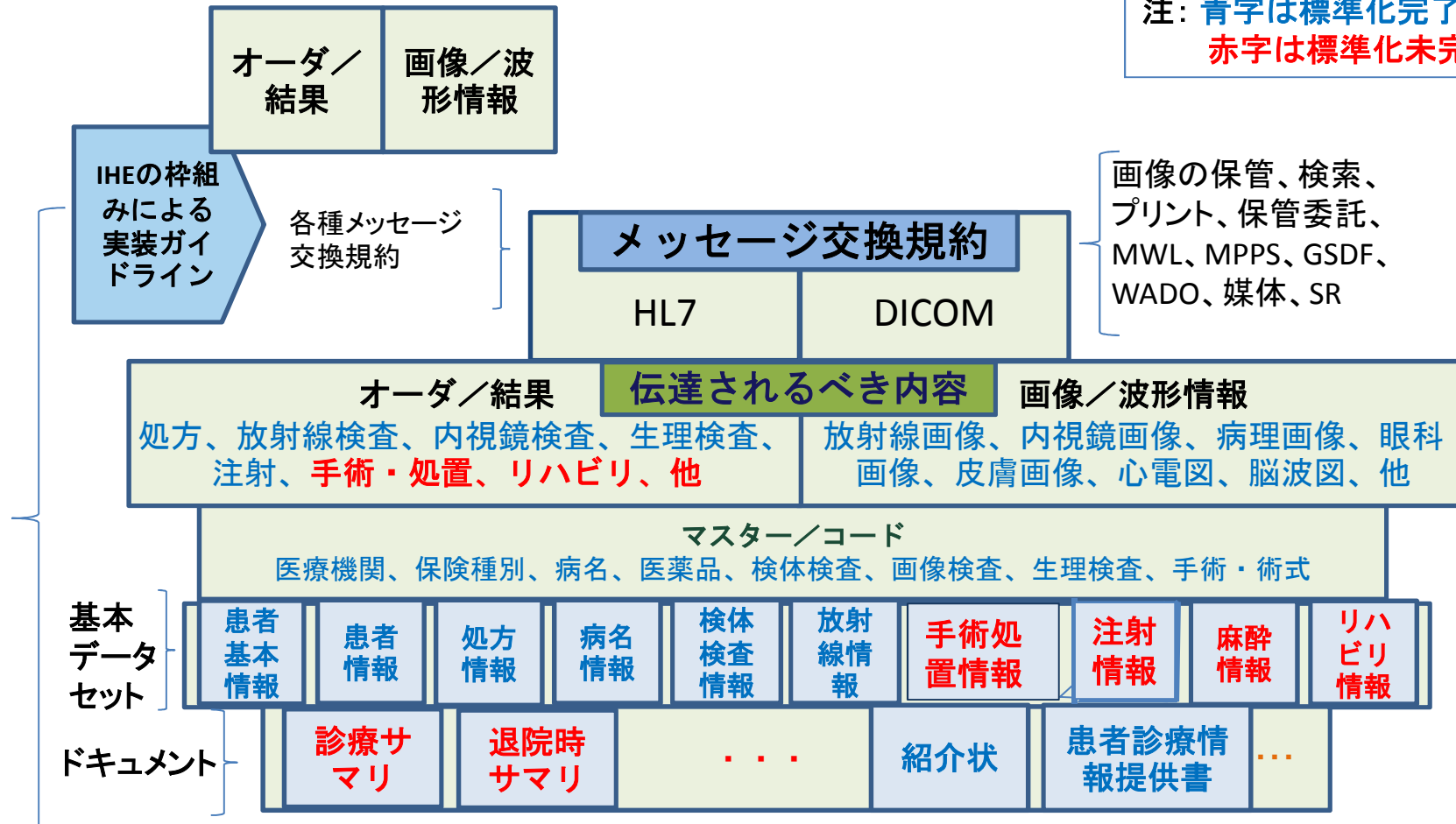
CURRICULUM

日程	1時限目 (13:00~13:50)	2時限目 (14:00~14:50)	3時限目 (15:00~15:50)	4時限目 (16:00~16:50)
10月16日(土)	第1回 概論(日本の医療、各国の医療事情、国際医療通訳の役割)			
10月(日時未定)	医療機関の見学(参加必須)			
10月23日(土)	第2回 医療技術講座 「健康診断」	医療技術講座 「呼吸器科」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
10月30日(土)	第3回 医療技術講座 「循環器科Ⅰ」	医療技術講座 「循環器科Ⅱ」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
11月6日(土)	第4回 技術講座 「消化器科Ⅰ」	医療技術講座 「消化器科Ⅱ」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
11月13日(土)	第5回 医療技術講座 「血液科」	医療技術講座 「内分泌代謝科」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
11月27日(土)	第6回 医療技術講座 「脳神経外科」	医療技術講座 「放射線治療科」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
12月4日(土)	第7回 医療技術講座 「泌尿器科」	医療技術講座 「産婦人科」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
12月18日(土)	第8回 医療技術講座 「整形外科」	医療技術講座 「皮膚科」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
12月25日(土)	第9回 医療技術講座 「眼科」	医療技術講座 「耳鼻咽喉科」	言語別ケースプレゼンテーション	言語別語学演習
未定	医療機関における通訳実習			
1月	修了試験			

## **4. 医療情報化の実施策**

# 医療情報の標準化全体概要

注: 青字は標準化完了  
赤字は標準化未完了



## 共通モジュール

- 現状の病院・診療所の電子カルテはベンダー毎の仕様の違いにより、そのままでは情報共有できない。
- 医療機関間の情報伝達の円滑化が図られながらも、二重入力しなくてすむ効率化とヒューマンエラーの防止するためのシステム構築が必要。
- そのため、電子カルテに格納されている情報を標準化されたデータ形式に変換し、医療機関から外に出す形に格納し直す機能をつくる。

### 医療情報化の目標

以下の共通モジュールを医療情報化促進事業の各フィールドにおいて構築中

HL7で出力された情報をSS-MIX  
標準化ストレージに格納

#### 本事業で使用する情報

- 病名情報
- 生理検査情報(医用波形)
- 内視鏡オーダー・結果
- 地域連携パス

#### 今後整備すべき情報

- 手術・処置オーダー・実施
- リハビリオーダー・実施
- 麻酔情報
- 内視鏡実施

HL7CDAで出力された情報を標準化  
ストレージに格納

#### 本事業で使用する情報

- 地域連携パス

CSV形式で出力された情報をHL7CDA  
に変換

#### 本事業で使用する情報

- 特定健診情報
- 病名情報
- 処方情報 他

SS-MIX標準化ストレージから出力された情報をHL7CDAに変換

**本事業で使用する情報**

- 地域連携パス

**今後整備すべき情報**

- 診療サマリ
- 退院時サマリ

CSVファイル形式の情報をHL7形式に変換

**本事業で使用する情報**

- 病名情報
- 臨床検査
- 注射(実施)
- 放射線検査(オーダー)

コンティニューア対応機器から出力される情報をXML形式に変換

**本事業で使用する情報**

- 体重計・血圧計等の情報をXML形式に変換しPHRデータセンタに送付

検査基盤に蓄積された検査結果情報を医療機関が参照

医師が自分の医師資格を医師会に認証依頼し、さらに認証されたことをアクセスする機関に提示する

格納されているファイルをまとめて作成者が署名及びタイムスタンプを付与する

# 医療生活産業の創出・育成と医療の情報化

